

2026

参加
無料

シンポジウム

科学的妥当性を評価する臨床研究とは —造血幹細胞移植の知見から細胞治療の社会実装を考える—

プログラム（予定）

開会挨拶 飛田護邦（順天堂大学革新的医療技術開発研究センター）

第1部

安確法下で実施する細胞の静脈内 投与を考える

14:05～15:20 司会：飛田護邦（順天堂大学革新的医療技術開発研究センター）

講演①「造血幹細胞移植の歴史に学ぶ脂肪幹細胞を用いた静脈内投与を考える」
宮腰重三郎（株式会社MediPROVE）

パネルディスカッション

宮腰重三郎（株式会社MediPROVE）
田村嘉章（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター）
長嶋浩貴（医療法人社団知正会 東京センタークリニック）

休憩（15分間）

第2部

安確法下で実施する細胞治療の 品質確保の事例

15:35～16:50 座長：藤原なほ（順天堂大学小児外科学講座）

講演②「FCMを用いた迅速微生物試験の可能性」
有田安那（順天堂大学革新的医療技術開発研究センター）

講演③「培養細胞における非臨床安全性試験の一例」
大瀬賢介（順天堂大学革新的医療技術開発研究センター）

講演④ 再生医療ナショナルコンソーシアム事業連携企画
「安確法下における細胞保管の考え方」
宇野友貴（大阪大学大学院工学研究科）

閉会挨拶 宮川智弘（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）

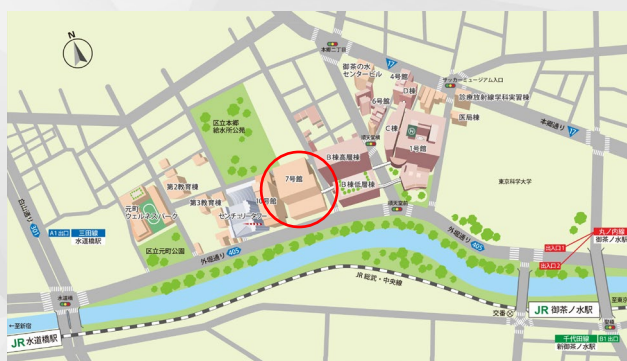
日時

2026年
12/18（金）

14:00～17:00（13時開場予定）

場所

順天堂大学
本郷・お茶の水キャンパス
小川秀興講堂（現地開催）
東京都文京区本郷2-1-1 7号館1階



対象

再生医療に興味の
ある医師・研究者
・企業等

事前登録制
定員300名

お申し込みはこちら
受付開始：9月14日
登録締切：12月11日

<https://forms.gle/upKcbbiVkr5YMJFC7>

